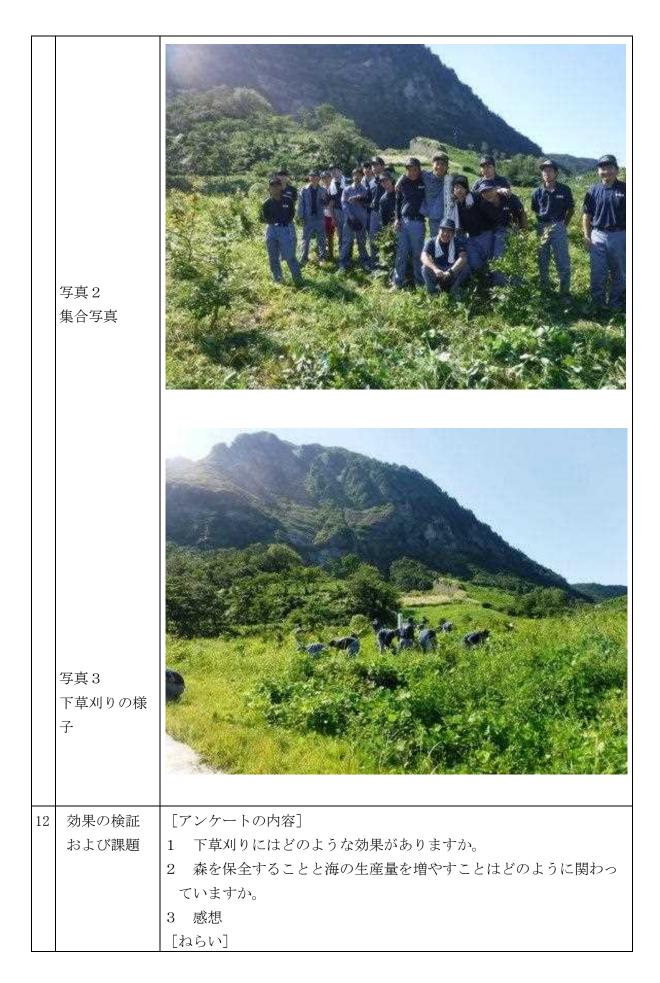
(6) 能生川沿いの森林保全活動

1	実証講座名	能生川沿いの森林保全活動
2		
		新潟県糸魚川地域振興局
3	講 師 名 実 施 日 時	平成28年8月31日(水) 4~6限(3コマ)
	-	
4	実施場所	糸魚川市柵口地内 海洋共活力 7.0万
5	受講者	海洋技術コース2年
6	受講人数	20名
7	授業科目名	漁業
8	実施の概要	外部機関との協働による森林保全活動
9	効果および	調査活動を通して、森林保全が、海の生産に関わることを理解させる。
1.0	ねらい	
10	実施内容	権現岳下万年雪フキンで、林業と防災について説明をし、その中の海の
		生産をたかめるための森林活動があることを理解する。下草刈り等手入りなれた様状想形な見て、本状の人の大切さな理解する。下草刈り等手入り
		れされた植林場所を見て、森林保全の大切さを理解する。実際に5年前によればはまたずかの大下くの帯などの表表
1.1	業成の中央	に先輩が植えたブナの木近くの草を刈り取る。
11	講座の内容	柵口の植林の概要、森林使用の概要、下草刈り
	写真 1 下草刈り	



1 は下草刈りがブナの木にどのような効果があるのかを確認 2 は下草刈りをすることで海を保全できることの確認

「効果〕

- ・海を保全することを意識しながら、下草刈りをすることができた。
- ・山には、海を保全する以外にもいろいろな機能があることが理解でき た。
- ・先輩から受け継いだブナの木に驚きがあった。
- ・森林保全の大切さがわかった。

下草刈りのみを行うと、単なる草刈りをしたということで終わってしまうので、事前にカキ養殖業者が、カキの質を高めるために山に植林をする事例や、えりも岬の植林によって昆布が戻ってきたことなどの話をし、さらに、ブナの森林の土壌は腐植土層と呼ばれる空気の多い土で、そこで細菌などが、活動してフルボ酸鉄などの栄養を川や海に注いでいるといった知識を与えてから活動を行った。

生徒の感想を見ると、何のために草刈りをするのかわからなかったという感想はほとんどなく、海や川を守るという見地に立って活動していることがうかがえた。

来年度もこの活動をとおして、森林活動の大切さを伝えていきたい。